



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合



酪農だより

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」—酪農家の心を食卓へ—

特集

業務効率化のカギを握る
業務改善プロジェクトチーム

現場潜入

鳥取のソウルドリンクを全国へ！
組合とファンを繋げる「白バラ広報」の現場

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



業務効率化のカギを握る 業務改善プロジェクトチーム



経理事務のコスト削減から スタートした 「業務改善プロジェクト」

皆さんは大山乳業農協に、業務改善に取り組むチームがあることをご存じですか？令和2年1月、当時総務課の澤村課長現デジタル推進課課長が経理事務コストの削減を目指し、取り組みを始めたことをきっかけにこのチームは発足しました。その頃、組合の経理業務は「勘定票」と呼ばれる紙であふれ、データ入力や検印の多重業務が多く見受けられました。この経理業務を改善しようと、澤村課長が新たな経理システム構築に取り組んだ結果、コスト削減の取り組みが認められ、令和3年1月には正式に「業務改善プロジェクト」として、平野専務と、各部署からデジタルに精通した精鋭7名を入れた総勢8名で発足しました。

業務改善プロジェクトの目的は、「事務処理の多重処理をなくし管理コストを削減する」、「組合の経営を判断する資料を早く見やすくし、事業収益アップに貢献する」、「ペーパーレス化で印刷や転記によるムダをなくす」の3つです。



iPadを導入した組合内会議のようす

るペーパーレス化、推進委員会のYouTube配信や、経理システム・労務システムの刷新、受注事務処理自動化システム導入などが挙げられます。成果は着実に表れ、理事会委員会の会議時間や準備時間の短縮、経理検印作業は4分の1まで削減、打刻集計作業はほぼゼロに削減、受注事務処理自動化システム導入では1名分の業務自動化が行えました。

今回は、デジタル推進課が事務局となっている「業務改善プロジェクト」、そして牛の個体番号収集登録システム「カウネット」について紹介していきます。



推進委員会のYouTube配信

新たに始まる 「白バラカウネット」とは？

全ての牛は出生から除籍までの個体情報報告を牛トレーサビリティ法にて義務付けられています。牛1頭ごとに付けられている個体識別番号の情報報告には毎月数千枚の書類処理が必要で、届け出が法で定められているとは言っても、酪農家にも指導課にも大きな負担がかかります。近年、1戸当たりの飼養頭数が増加し、その管理と情報収集は簡単ではありません。そこで、指導課では、個体識別番号を収集する事務処理の自動化を目指

し、システム化の検討を行いました。そして、物流課の牛乳販売店向け商品発注システム(白バラネット)から着想を得て、インターネットで入力する方法を活用した「カウネット」という個体識別番号登録システムに至りました。これにより、酪農家がこれまで手書きで記入していた、「個体識別番号」を携帯電話やパソコンで入力することで、データ管理ができるようになります。このシステムは今年の冬頃から運用を予定しています。



現在の個体識別番号収集業務にかかる4ステップ



指導課とデジタル推進課の打合せのようす

酪農家・消費者・組合職員にとって意義のある改善へ

業務改善プロジェクトチームは、令和3年1月から令和4年5月までに計22回にも及ぶ会議を開催してきました。ここでも続けてこれらしたのは、常勤役員をはじめとした組合員、組合職員の理解があったからです。これからも外部のアイデアを取り込み、様々な視点から業務改善を推進していきます。今後も、酪農家にとって負担の少ない酪農を実現し、酪農家へやりがいを感じられる安定した収入と、消費者へ魅力のある価格を実現できることを目指します。

また、業務改善によって、組合で働く職員に心と時間の余裕を作り、おいしい生乳から作られる製品を多くの消費者にお届けできる仕組み作りに貢献します。

今後、業務改善プロジェクトは主に、稟議書申請業務のペーパーレス化などの「管理コストのスリム化」、製造日報のデジタル化などの「製造コストのスリム化」、長年紙媒体で運用していた物流課内の現場作業でのデジタル化などの「流通コストのスリム化」の3本柱で活動していきたいと考えています。

より良い業務改善活動にするためには、組合全体で検討していくことが必要です。これからも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



外部企業との打合せのようす



現場 潜入

鳥取のソウルドリンクを全国へ！ 組合とファンを繋げる 「白バラ広報」の現場

お客様と
「つながる広報」
を目指して



大山乳業農協の広報担当の朝は、インターネット上に掲載された情報の検索とチェックから始まります。膨大な情報の中から、今どんな話題が注目され、白バラ製品がどう評価されているかなど、様々な視点でお客様の興味関心を感じ取り、タイムリーな情報共有や情報発信に繋がっています。

広報を担当しているのは、総合企画室 総合企画課の広報チーム。その業務の裾野は広く、「メディア対応」、「SNS（情報交流サービス）運用」、「ホームページ管理」といった対外的な広報活動や、「機関紙の編集」などの内部向けの活動もあります。

そんな中、広報チームが今、特に力を入れているのが「SNS広報」です。SNSは企業とお客様との距離感が近くファンづくりに適していることから、最近では情報発信ツールとして積極的に活用する企業が増えていきます。

大山乳業農協でも数年前から、SNS広報の可能性に注目し、現在では3つのSNS合計で、32,700名ものフォロワーと繋がっています。

今回は、注目の「SNS広報」の現場をご紹介します。

SNSで

「バズリ」を生んだ 白バラプレミアムアイス



4月15日の夕方、広報チームは驚きと歓喜に沸いていました。

その理由はTwitterで開催した「白バラプレミアムアイスキャンペーン」が今までにない大きな反響を生んでいたからです。

SNSで急激に注目され、多くの人に拡散される事を「バズる」と呼びます。このキャンペーンはまさに「バズリ」を生み、当初の予想をはるかに上回る18,000回のリツイート^{※1}と5,000個のいいね^{※2}を獲得。キャンペーン情報はTwitter上で64万回も表示されました。

ユーザーからは「食べてみたい」「どこで売っていますか?」との問い合わせも寄せられ、こだわりの詰まった「白バラプレミアムアイス」の情報を多くのお客様に発信できました。さらに乳業団体のリサーチでは、「牛乳」というワードで全国ランキングでも上位になったほか、製品の売れ行きも計画を大きく上回って推移しており、今後もSNSを活用して販促の後押しをしていきたいと広報チームでは考えています。

また、今年3月には全国的な牛乳消費促進活動の中で、動画制作と配信を手掛けるTastemade Japan（テイストメイドジャパン）様と牛乳レシピ動画を公開しました。公開した動画は7つの媒体で拡散され、再生回数は60万回

を超えました。当初の目標を大きく上回る結果となった動画には沢山のコメントも寄せられ、「美味しそう」「なつかしい」「鳥取県がこいいい」「白バラ牛乳は本当においしい」といった好意を寄せる声が多く投稿されています。

※1 リツイート：投稿を引用して個人のページに表示すること
※2 いいね：投稿に対してのユーザーの意思表示

つながる広報の先にあるもの 「白バラ牛乳」鳥取県



SNS広報を担当している総合企画課の山崎さんに、今後の目標を伺うと「一番はいかにお客様に白バラの魅力を伝えられるか。グッズやSNSを活用して大山乳業農協に興味を持ってもらい、酪農家の皆さんの思いを伝

えたい。情報発信を行い『大山乳業白バラ』鳥取」と言ってもらえるような機会が増えれば良いと思います。」と語りました。

私たちの広報活動は単に製品の良さを伝えるだけではありません。酪農家の皆さんの声を聴き、大山乳業農協の特徴やその良さを学び知り、自らの言葉で伝える。

私たちが目指す広報への道のりは単純なものではないかもしれませんが、しかし、きらりと光る大山乳業農協の良さやこだわり、想いを一つひとつ拾い上げて発信し続けることで、お客様が大山乳業農協を身近に感じ、いつしかファンになる。

そう信じ、今日も広報チームは大山乳業農協の「瞬き」を探し発信します。



[P5 (上から)] Twitter キャンペーンの投稿/テイストメイドジャパンのレシピ動画/広報活動のようす (商品撮影) / SNS 投稿の打合せ/大山乳業のきらりと光る瞬間を届けます



該当製品の一部（白バラ牛乳・白バラバスタライズ牛乳）



該当製品は、県内の一部の学校でも提供されています



チーム紹介のようす



意見を出し合い改善に取り組みます

製品開発センターレポート

ブリック製品のストローに、 バイオマスプラスチックの導入を始めました！

大山乳業農協では今年春から、ブリック製品全品で、プラスチックの一部（6%）にバイオマスプラスチックを使用したストローの導入を始めました。

近年、持続可能な開発目標（SDGs）に注目が集まり、様々な取り組みを行う企業が増えています。

その取り組みの1つに、従来のプラスチック使用からバイオプラスチックへの移行があります。日本バイオプラスチック協会では、バイオマスプラスチックを「原料として再生可能な有機資源由来の物質を含み、化学的または生物学的に合成することで得られる高分子材料」と定めています。

バイオマスプラスチックのメリットには、石油資源の節約と、ゴミを燃焼した時の温室効果ガスの抑制があります。

地球温暖化への対策が必要とされている今、地球にとっても、大山乳業農協にとっても良い取り組みを進めていきたいと考えています。

製造部レポート

改善活動「アップデート」 バージョン19がスタートしました

大山乳業で日々白バラ製品の製造を行う製造部門では、作業の効率化・省力化を進めコスト低減や作業者の負担減に繋げるための「アップデート」という改善活動の取り組みを毎年行っています。

4月15日（金）、今回で19回目となるアップデートのキックオフ大会が開催され、製造部門の各チームがメンバー紹介を行いました。

バージョン19の大きなテーマは「省エネ」。緊迫する世界情勢の影響を受け、エネルギー価格の上昇に歯止めがかからない状況の中で、エネルギー消費の削減は製造現場にとって、避けて通れない重要な課題となっています。

そのためには、普段当たり前に行っている作業にも疑問を持ち、製造効率の見直しやムダの排除を進めていかなければなりません。

白バラ製品を安定してお客さまの元へ届け、大山乳業農協に携わる人たちの生活を守るため、各チームはこれから1年かけて、改善活動に取り組んでいきます。

総合企画課レポート

2022牛乳月間 フォトコンテスト開催中！

大山乳業農協では今年も牛乳月間に合わせ、6月30日(木)までInstagramを利用した「白バラフォトコンテスト」を開催中です！

みんなとシェアしたい白バラ製品を撮影し、「#白バラ牛乳月間」を付けてご応募ください。応募期間終了まであとわずか！下記のQRコードより、ご参加ください。皆様からのご応募、お待ちしております！



祭壇のようす



式典の最後には牛乳で乾杯しました

営業課レポート

直売所カウイーのみるく館で お母さんの似顔絵を募集しました！

直売所カウイーのみるく館では、母の日に合わせてお母さんの似顔絵を募集しました。

今回は43作品のご応募を頂き、クレヨンやペンを使って描かれた色とりどりの絵が、店内をにぎやかに彩りました。多数のご参加、ありがとうございました。

現在カウイーのみるく館では、父の日に合わせて募集していた、父の日の似顔絵を6月末まで展示中です。お買い物に来られた際は、ぜひご覧ください。



店内での展示のようす

組合レポート

飼料倉庫新築工事地鎮祭が 行われました

5月26日(木)、大山乳業農協本所工場向かいの飼料倉庫建設予定地にて、飼料倉庫新築工事地鎮祭が行われました。

当日は、小前組合長をはじめとする常勤役員や理事、代表監事などの組合関係者と、株式会社白兔設計事務所関係者、馬野建設株式会社関係者が参加しました。

式典では、宮司によるお祓いや、土地を清める儀式が行われました。

飼料倉庫の本格的な工事は今年の6月頃から始まり、完成は来年の1月を予定しています。

現在、飼料倉庫と乾草飼料を保管している倉庫は別の建屋ですが、新築される飼料倉庫は、乾草飼料も一緒に管理できるようになります。これにより、酪農家の皆さんが飼料を取りに来られた際、用事が1カ所で完結するというメリットがあります。

地鎮祭当日は天候にも恵まれ、参加者は式典の最後に牛乳で乾杯し、飼料倉庫の工事が安全に行われるよう、お祈りしました。

指導課通信

今月のトピックス

- 鳥取県奨励品種選定試験結果の概要
～鳥取県畜産試験場での栽培試験結果～

鳥取県奨励品種選定試験結果の概要

鳥取県畜産試験場での栽培試験結果

昨今、輸入飼料価格の高騰が続いており、自給飼料の生産は酪農家にとって大きな課題となっています。自給飼料生産の際、多数の品種から収量性の高い品種を選ぶことは、生産性を高めるために重要なことと言えます。鳥取県畜産試験場では、イタリアンライグラスとトウモロコシを対象に、鳥取県の気候に適した品種を県の奨励品種に選定するため、栽培試験を行っています。試験場内の畑地で様々

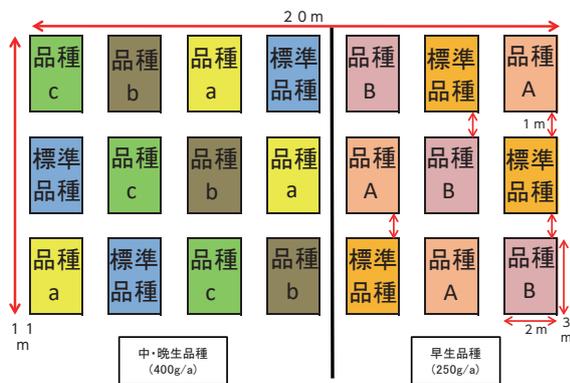
な品種を実際に栽培し、データを収集し、成績が優良だった品種は奨励品種選定会議(例年5月開催)を経て、県の奨励品種として認定されます。

今回は令和元年から令和3年に収穫したイタリアンライグラスの品種の試験結果について報告します。

●試験における調査方法

試験は(独)農業技術研究機構畜産草地研究所及び(独)家畜改良センター発行の「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」及び「飼料作物特性検定試験実施要領」に準拠して実施します。畜産試験場は東伯郡赤碕町松谷にあり、場内の黒ボク土の畑地に試験圃場を設置します。イタリアンライグラスは早生・中晩生共に10月下旬頃に播種し、翌年の5月頃の出穂期に1番草、2番草と2回収穫を行います。播種量は2倍体品種が250g/a、4倍体品種が400g/a、施肥量は(表1)のように設定します。1区画6㎡とし、3反復乱塊法により区画を設定、試験品種と標準品種(過去の奨励品種から選定)を同条件で栽培し、成績を比較します(図1)。鳥取県で優良な生育をした実績のある品種と比べる事で、試験品種の能力を判定する仕組みです。播種後はこまめに観察を行い、

(図1) イタリアンライグラス播種図面



(表1) イタリアンライグラス試験圃場施肥量

肥料名	施用量 (kg/a)	要素量 (kg/a)			方法
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
尿素	1.6	0.7			散播
ようりん	9.0		1.8		散播
塩化加里	1.8			1.1	散播
基肥 合計	12.4	0.7	1.8	1.1	
尿素	1.6	0.7			散播
塩化加里	1.8			1.1	散播
追肥 合計	3.4	0.7	-	1.1	



試験圃場のようす

発芽日、発芽良否、初期育成、病害、倒伏程度、出穂始、出穂程度などを目視で確認するほか、収穫調査では各区画の生草重量、草丈、乾物率、乾物収量などを計測します。試験は各品種につき3年間実施され、その成績の平均を標準品種の成績の平均と比較し、優良な成績を残した品種が奨励品種選定会議において、新たな県の奨励品種に認定されます。

●令和元年から令和3年の試験結果

令和元年から令和3年まで3ヶ年の試験を行ったのが、中晩生品種の「ダイセンキラリ」(カネコ種苗)という品種です。標準品種には平成13年に

(表2) R1～R3年春収穫分3か年平均の成績(発芽良否、初期草勢、倒伏程度)

実施年度 (収穫年)	品 種 名	発芽 良否	初期 草勢	倒伏程度		
				1 番草	2 番草	
R1～R3	中晩生品種	ヒタチヒカリ(標準品種)	5.8	5.5	1.8	1.4
		ダイセンキラリ	6.9	6.9	2.3	2.6

発芽の良否、初期草勢：9(極良)～1(極不良) 倒伏程度：1(無)～9(甚)

(表3) R1～R3年春収穫分3か年平均の成績(乾物収量、草丈)

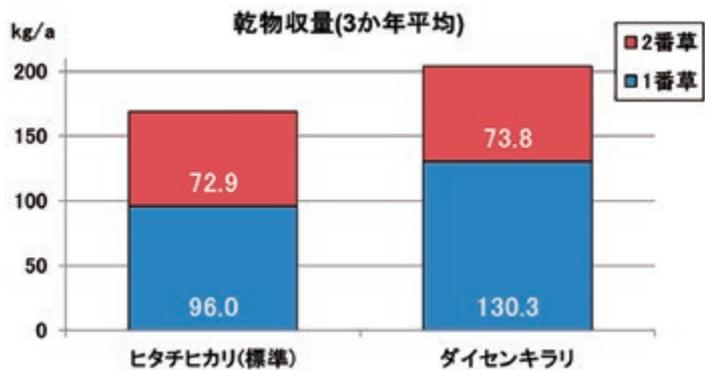
実施年度 (収穫年)	品 種 名	乾物収量	草 丈		
		平均	1 番草平均	2 番草平均	
R1～R3	中晩生品種	ヒタチヒカリ(標準品種)	168.9	109.7	102.7
		ダイセンキラリ	204.1	108.5	99.6

※ 単位：乾物収量：kg/a(1番2番合計)、草丈：cm

(表4) イタリアンライグラス奨励品種(22品種)

品 種 名	指定年次	品 種 名	指定年次
ワセアオバ	S54	ライジン	H29
ワセユタカ	S54	さつきばれEX	H30
エース	S63	tachuwuka	R1
タチワセ	H3	うし想い	R1
ナガハヒカリ	H10	ダイセンキラリ	R4
ヒタチヒカリ	H13		
マンモスB	H14		
ニオウダチ	H14		
タチマサリ	H14		
ジャイアント	H14		
ムサシ	H16		
いなずま	H20		
ワセホープ	H28		
あかつき	H23		
テティラ	H24		
タキイジャイアント	H28		
ゼロワン	H29		

(図2) 乾物収量の比較



県の奨励品種に認定された「ヒタチヒカリ」を設定しました。主な試験項目の試験結果を(表2)(表3)にまとめました。3か年成績の平均を比較する

と、発芽良否、初期草勢ともにダイセンキラリの方が好成绩でした。倒伏はダイセンキラリが標準品種に比べ多い結果になりましたが、その成績は9

当試験では、試験開始年度の異なる複数の品種の試験が同時進行で行われています。毎年のように3ヶ年試験を終えた品種の成績がまとめられて会議にかけられ、奨励品種の認定の是非を審議されます。また、一方でそれと入れ替わるように新しい品種の試験が始まります。これからも沢山の品種の試験を行い、その結果を発信していきます。

奨励品種選定試験が、自給飼料生産者の皆様が品種を選ばれる際に、お役に立てば幸いです。

令和元年から令和3年までの3か年試験を終えた「ダイセンキラリ」は令和4年5月に開催された奨励品種選定会議において、晴れて新しく県の奨励品種に認定されました。主な認定理由は「高い収量性が見込めるため」でした。ダイセンキラリが加わり、現在鳥取県のイタリアンライグラス奨励品種は全22品種となりました(表4)。

●令和4年度鳥取県飼料作物奨励品種選定会議

令和4年度鳥取県飼料作物奨励品種選定会議の結果となりました(図2)。標準品種と比べてほぼ同等かやや低い水準でした。乾物収量は標準品種を大きく上回る結果となりました(図2)。

第14回 食品衛生「7S」

食品の衛生管理の中でよく出てくる言葉に食品衛生「7S」というものがあります。

【食品衛生7S】

- 整理** 要るものと要らないものを明確にし、要らないものを処分すること。
- 整頓** 要るものを使いやすいようにきちんと置き、誰にでも判るように表示すること。
- 清掃** 常に掃除をしながら、同時に点検を行うこと。
- 洗浄** 洗い清めること。
- 殺菌** 細菌などの病原体を死滅させること。
- 躰** 職場の基準やルールが、自主的に守られること。
- 清潔** 常に整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌の5Sを守ること。

いずれも衛生管理では大事なことばかりですが、一番難しいのが「躰」ではないかと思えます。

ルールが自主的に守られるためには、例えばルールが文書にされて新しく入った人にも伝えやすいものになっている、写真やフローを使って見るだけでわかりやすい文書になっている、なぜこの作業が必要なのか理由も伝えている、などが大事になってきます。これって、製造現場に限ったことではなく、事務作業でも同じ・・・。

私自身、部署異動で新しく入った方へわかりやすく教えることができる文書が必要だ!と実感した今年の春でした。



ぜひご賞味ください!

しかし、以前アイス担当を務めていた時、このアイスの食味をする中で、ミルクと抹茶のバランスが絶妙で『これならいくらでも食べられる!』と感動しました。抹茶が苦手な方にもおすすめめの「大山濃い味抹茶」、皆様ぜひご賞味ください!

J A 鳥取県人権・同和問題 対策推進本部からのお知らせ

J Aグループ鳥取では人権・同和問題に対して、令和3年度より「第8次(2021~2023年度)J A鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。組合員の方をはじめ、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第8次期間中(2021~2023年度)も引き続き、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第27回 「外国人の人権問題について」

国際化が進む社会情勢の中で、本県においても多くの国々との交流が進んでおり、日常生活において外国人と接する機会が増えています。しかしながら、諸外国やそこに暮らす人々たちに対する私たちの理解と認識は、必ずしも十分とは言えない面があり、日常生活の中で、外国人に対して人種や民族、生活習慣、宗教の違いなどに起因するさまざまな差別や偏見が生ずることがあります。例えば、外国人であること

を理由にアパートへの入居を拒否される、思うような仕事に就業できない等といった事実が生じています。平成28(2016)年には、「ヘイトスピーチ解消法」が施行されましたが、最近では、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、ロシア人への誹謗中傷が起こっています。そうした特定の種族や民族への差別を煽るヘイトスピーチは、現在、大きな社会問題となつていきます。「ヘイトスピーチ解消法」では、国と地方公

共団体による相談体制の整備や教育の充実、啓発活動など、対策を講ずるよう定められています。みなさんも業務上やプライベートなどで外国人の方と触れ合う場面がある方もおられると思います。外国人に対する偏見や差別をなくしていくため、諸外国の文化等の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとるようにしましょう。



私のオススメ

こんにちは!製品開発センターの鈴木です。私のおすすめは「大山濃い味抹茶」です。・・・と言いつつ、実は私は抹茶スイーツが苦手です。



大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議決が決議されました

5月19日提出議案

- 第1号議案 4月末経営検討について
- 第2号議案 各種規程の一部変更について
- 第3号議案 長期資金の借入について

直売所からののお知らせ

6月のカウイーのみるく館イベント情報！

6月末まで特設コーナー設置中！

カウイーのみるく館では現在、6月30日(木)まで特設コーナーを設置しており、「特選大山おいしい牛乳900ml」に造花付きオリジナルタグを付けて販売中です。

この機会にぜひ、牛乳をお買い求めください！



異動辞令等

【令和4年7月1日付け】

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)

販売部

物流課 係長 溝内 文穂 岡山(営) 係長

新商品発売について

乳飲料の新商品のご紹介です

【期間限定】白バラバナナオ・レ

500ml・1000ml

7月4日新発売

バナナの熟した甘い香りとミルクのやさしい味わいが織りなすハーモニーを楽しめるミルク分55%



のバナナオ・レです。(販売期間：9月末頃まで)

大山まきばみるくの里

「白バラ牛乳列車」展示中です！

牛乳月間に合わせて、今年も大山まきばみるくの里にて、「白バラ牛乳列車」が走行中です！白バラ牛乳の貨車を引いたプラレールなど、いつもの大山まきばみるくの里とは一味違った雰囲気を楽しめます。展示期間は6月28日(火)までとなっていますので、皆様ぜひお越しください。



新しく白バラフルーツの貨車が登場！

- 子供の頃から、大山乳業さんの商品はどれも美味しくて、ドライブに行けば必ずと言って良いほど購入していました。今は近所のスーパーでヨーグルトを買っています。これからもよろしくお願ひします。(兵庫県)
- こだわりの生乳、鳥取県産の食材で作られている製品。すばらしいと思います。これからも応援していますので、頑張ってください!!(大阪府)
- 小学生の頃、毎日白バラ牛乳を飲んで育ちました。また、関西に住んでいたころ、職場の同僚や友人にも認知度が高く、鳥取県出身者としてとても誇りに思いました。これからも応援しています。(鳥取県)
- 美味しさに信頼があるのでよく購入しています。これからも濃厚で美味しい商品を楽しみにしています。(広島県)
- 以前工場見学に行ったことがありますが、コロナで大変なこともあると思います。コロナで頑張ってください！今度ふるさと納税で白バラ商品を頼む予定です。(長崎県)
- コロナ禍の中、大変だと思いますが営業して頂きありがとうございます!!この大山の牛乳を全国に広めていってください!!(奈良県)

ホームページからの声



大山まきばみるくの里 「#みるくフォトコン春」を開催しました!



大山まきばみるくの里では、公式Instagramにて、「#みるくフォトコン春」を開催し、多数の作品をご応募頂きました。

春らしい大山の風景や、大山まきばを満喫されている姿など、印象的な作品が多く見受けられました。今月号の酪農だよりの表紙はグランプリ作品、記事中の写真は準グランプリの3作品です。

大山まきばみるくの里公式アカウントでは、春に続き夏・秋もフォトコンテストを開催する予定です。大山まきばみるくの里のアカウントをフォローしてご参加ください。ご応募お待ちしております。

編集後記

来月はついに7月です。1年の折り返し地点ですね。振り返ってみると、あっという間に半年が過ぎたように感じますが、皆さんはどうでしょうか。今年もあと半年、1日1日を大切に過ごしていきたいと思えます。

組合の公式SNSアカウントでも情報発信中!!



twitter



Facebook



Instagram

大山乳業農協ではホームページだけでなく、ソーシャルメディアを活用した情報発信も行っています。ぜひチェックしてみてください!



YouTube

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



組合公式ホームページを リニューアルしました!



「白バラ物語」ぜひご覧ください!

組合公式ホームページが、6月1日(水)よりリニューアル公開されています!

今回のホームページでは、製品がお客様に届くまでに関わる人々を主人公にしたコンセプトムービー「白バラ物語」を制作しました。たくさんの人たちが描く「白バラ」との物語をホームページと合わせてお楽しみください。また、動画はYouTubeでも公開しています。

『白い一滴が生まれてからあなたのもとへ届くまでに、たくさんの人たちが描くそれぞれの「白バラ」との物語』。皆様ぜひご覧ください。

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、平成7年12月20日発行「酪農だより第407号」より、当時のギフトアイス「収穫祭」の写真です。バニラ、粒いちご、抹茶あずき、砂丘ぶどう、20世紀なしシャーベット、朝採り完熟ブルーベリーが楽しめるセットでした。現在のプレミアムシリーズとは雰囲気の違いが印象的です。

酪農だより vol.725



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和4年6月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp